

今回は自治医科大学の山本博徳先生が中心となって「原因不明消化管出血(OGIB)」が企画、特集された。序説において岩手医科大学の松本主之先生も記載されているように、OGIBの原因疾患は小腸疾患とはほぼ同義語と考えてよいと思われ、その診断・治療のための device が 21 世紀初頭に登場したカプセル内視鏡、バルーン内視鏡であり、ほぼ 20 年が経過したことになる。

疾患としては潰瘍性病変、腫瘍性病変と血管性病変に分類され、小腸の出血性病変へのアプローチはより進化し確立されつつあり、総論においてはその原因別にわかりやすくまとめていただいた。

各論においては、各分野の専門家の先生方に、患者背景と病歴から組み立てる OGIB の診断・治療戦略をまとめていただいたうえで、少し特殊な病態における小腸出血性疾患が解説されている。また、欧米においては積極的に実施されないものの本邦においては頻繁に行われる dynamic CT の有用性をご説明いただいた。さらには overt bleeding に対する新たな診断・治療戦略をカプセルやバルーン内視鏡のみならず IVR の適応も併せてその real world を解説していただいている。最後には本邦における OGIB の診断・治療を進めるうえでの保険診療上の注意点を記載いただくことで今後の課題を浮き彫りにしていただいた。

このように、今や成熟期に入りつつある OGIB に対する診療は当初の小腸疾患に対するアプローチからさらなる進化をとげている。これらはいずれも本邦における多くの消化器疾患専門医によりユニークな発想と高度な技術に基づき発信されてきた、日本の医師だからこそ実現可能な技術でありエビデンスであり、実臨床に役立つ多くの情報が網羅されている。是非、熟読していただき日常診療の一助としていただければ幸いである。

緒方 晴彦

(慶應義塾大学医学部内視鏡センター)

INTESTINE

Vol.23 No.4

©2019 年 7 月 20 日発行

定価(本体 3,200 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center, Inc.

© 2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541